

第6回APCTP日本委員会会合議事録(案)

日時: 2009年3月24日(火)午前10時30分より午後12時まで

場所: 理化学研究所(和光)研究本館4階 433号室

出席者: 菅原寛孝(委員長、日本学術振興会)、藤川和男(日大)、北澤良久(KEK)、横山順一(東大)、岡真(東工大)、保坂淳(RCNP)、古崎昭(理研)(以上順不同)

オブザーバー: 橋本幸士、永島礼二、宮本寛(理研)

欠席: 二宮正夫(岡山光量子科学研究所)、永長直人(東大)、上田和夫(東大物性研)、九後太一(京大基研)、佐藤勝彦(東大)、河本昇(北大)、川合光(理研)(順不同)

事務局: 多田司(理研)

議事次第:

承認:

1. 前回議事録承認

2007年12月1日に開催された第5回APCTP日本委員会の議事録を承認した。

報告:

1. 物性研にあてて委員長名で物性研の分担金を含めたこれまでの協力に感謝する手紙を出し、今後理研の仁科センターが分担金を負担してAPCTPと日本の理論物理学のコミュニティの交流を進める上で変わらぬご協力をお願いしたことが委員長より報告された。

2. 2008年3月29日に開催されたAPCTP Board of TrusteesのMeetingについて、出席した藤川委員から報告があった。Boardの新メンバー、予算、APCTPのScientific activity、とくに新設されたJRG(Junior Research Group)について説明があり、またAPCTPのNetwork作り、条文の改正、Membership Countryの状況、インドの新規加入、各国の研究機関との提携、Science Councilについて説明などが当日の資料を参照しながら行われた。これに対してMember Countryの一つとして挙げられているSingaporeの参加実態について質問があった。またコメントを求められたオブザーバーの橋本氏から参加したAPCTPでのSchoolについて紹介があった。

3. 2008年3月28日、29日に開催されたAPCTP General CouncilのMeetingについて、出席した河本委員からの書面による報告が事務局より紹介された。Chairmanの選出、ハノイにランチ設置のためのルール改正、インドの新規加盟等の他、ポストクやJRGの選択は、現在韓国の研究者であるProgram coordinatorらによつ

で行われているが、国際的な人事委員会で行われるべきとの議論があった事が紹介された。これに対し、Program Coordinatorの実情、今後のJRGの見通しについて質問が出た。

4. APCTPの現状と今後について、APCTPよりの説明資料およびFulde所長よりの文書が事務局より説明された。JRG等によってAPCTPでの研究活動を活発化したいとするFulde所長の意向に対し、おおむねその方向を支持する事で良いのではないかとの認識が持たれた。一方POSTECHとの連携、特にPOSTECHが強い分野と協調してJRG等の分野選定を行われるのが望ましいとされていたことについては、既存のPOSTECHの研究分野にAPCTPの方向性が限定されるのは避けるべきではないか、むしろAPCTPはPOSTECHにない分野を補完するような形が望ましい、また所長の専門分野であるCOMPLEX SYSTEMなどに偏らない今後の発展を望みたい、その意味からもJRG等の分野についても今後幅広く、透明性を持って選定されるべきである、と言った意見が出された。

議事:

1. 任期切れを迎えるAuditorの永島礼二氏の後任として、宮本寛氏を推薦する事となった。
2. 同じく任期切れを迎えるBoard of Trusteeメンバーである藤川委員には、もう一期お務め頂くようお願いする事となった。藤川委員はこれを受諾し、抱負を述べられた。

その他:

1. APCTPの安定性と韓国物理学会との関係が質問された
2. これまで監事を務めた永島氏に感謝の意が表された。
3. 日本の30代40代の研究者によるAPCTPへの更なる関与が望まれるとの意見が出された。

事務局注)

今回の会合の通知を上記出席者および欠席連絡者の他に、下記の各委員に送りました:

益川敏英(京産大)、安藤恒也(東工大)、赤石義紀(理研)、矢崎紘一(東女大)、小林誠(KEK)

以上